2025年３月期

決算説明資料

株式会社ベガコーポレーション

証券コード：3542

VEGA corporation

INDEX

目次

1 2025年３月期 決算概要

2 LOWYA事業の報告

3 DOKODEMO事業の報告

4 2026年３月期　業績予想

1

2025年３月期
決算概要

決算ハイライト（通期）

売上高は15,935百万円（YoY 99.2%）と微減したが、営業利益は926百万円（YoY 120.1%）と改善。

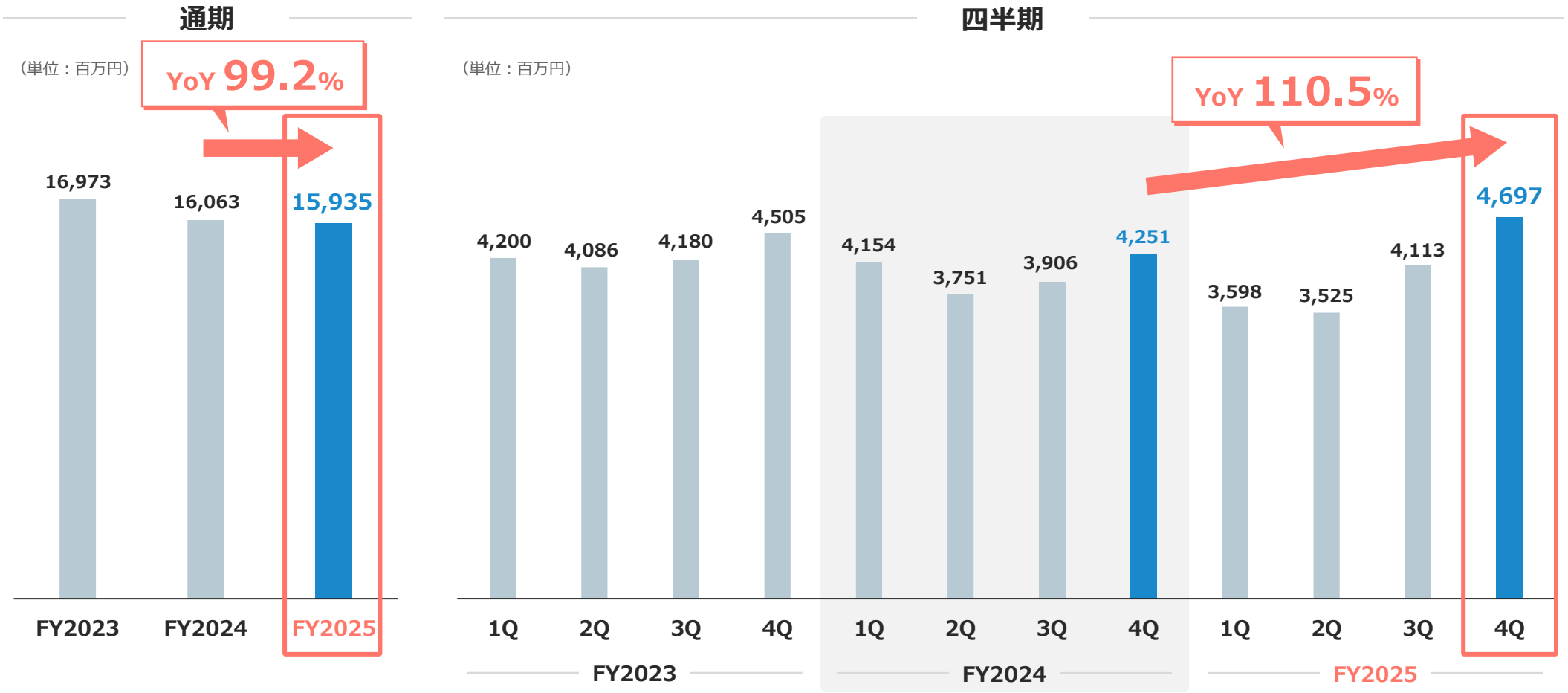
（単位：百万円）

	2024年３月期 実績	2025年３月期 実績	YoY	2025年３月期 通期計画	2025年３月期 進捗率
売上高	16,063	15,935	99.2%	16,000	99.6%
売上総利益	7,995	8,163	102.1%	–	–
売上総利益率	49.8%	51.2%	–	–	–
販管費	7,223	7,236	100.2%	–	–
販管費率	45.0%	45.4%	–	–	–
営業利益	771	926	120.1%	900	103.0%
営業利益率	4.8%	5.8%	–	–	–
経常利益	790	938	118.7%	900	104.2%
当期純利益	394	591	150.0%	540	109.6%

※本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続等は実施中であります。

売上高の推移

売上高は通期が15,935百万円（YoY 99.2%）、4Qが4,697百万円（YoY 110.5%）で着地。

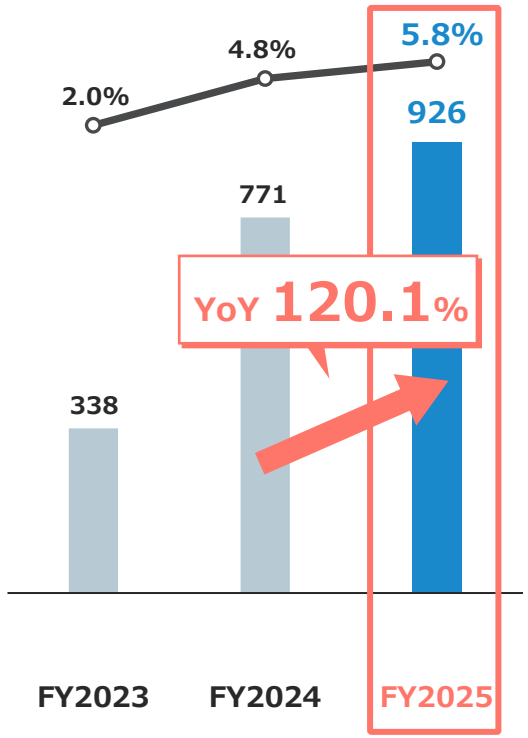


営業利益の推移

営業利益は通期が926百万円（YoY 120.1%）、４Qが419百万円（YoY 89.3%）で着地。

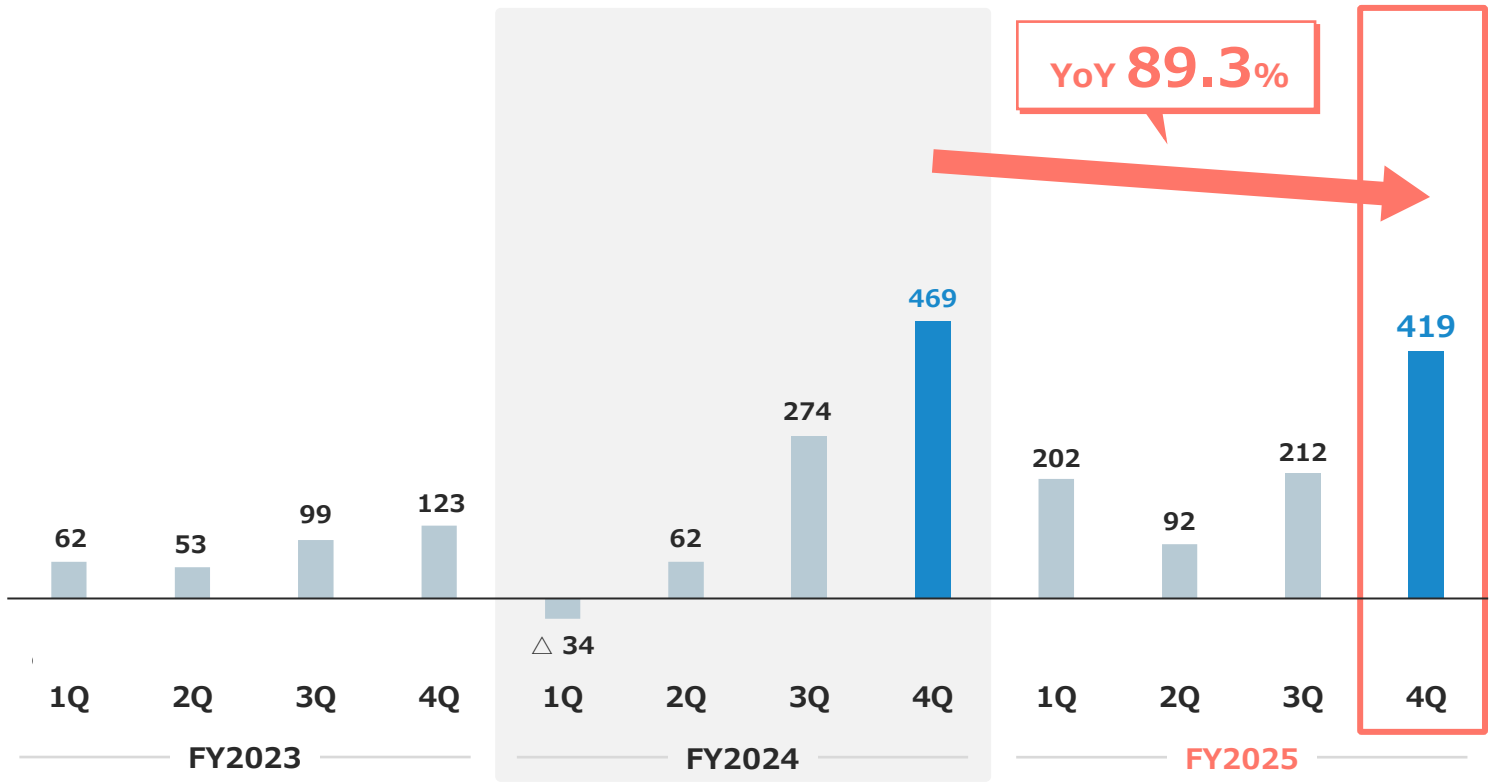
通期

（単位：百万円）　営業利益　営業利益率



四半期

（単位：百万円）

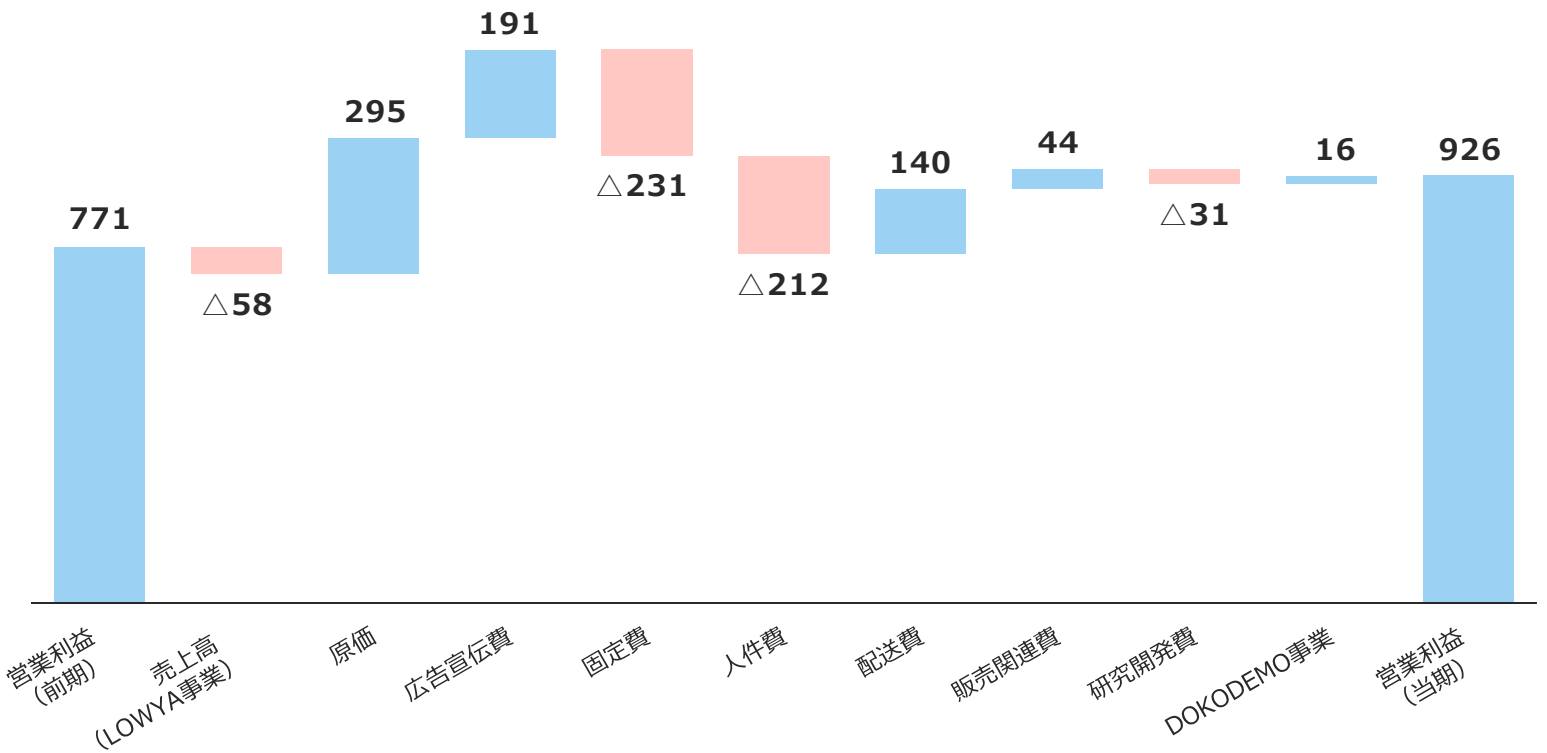


営業利益増減要因（通期）

前期と比較して、収益を改善。

営業利益増減要因（前期比）

（単位：百万円）



売上高の減少

- 販売促進費や広告宣伝費の削減に伴う減少

売上原価の減少

- 売上高の減少に伴う減少
- 価格改定による原価率の改善に伴う減少

販売費及び一般管理費の増加

- 基幹システムリプレイスに向けた費用の増加
- 実店舗の出店に伴う費用の増加

※算定基準となる売上高はDOKODEMO事業及び研究開発費に係る収益を除いた金額となるため、損益計算書上の販管費とは一致いたしません。

貸借対照表

健全な財務基盤を維持。

（単位：百万円）

	前事業年度（2024年３月末）	当事業年度（2025年３月末）
流動資産	**6,153**	**6,611**
うち、現預金	**1,750**	**1,835**
うち、売掛金	**1,739**	**2,016**
うち、商品	**2,110**	**2,312**
固定資産	**1,056**	**1,462**
うち、有形・無形固定資産	**518**	**694**
資産合計	**7,209**	**8,073**

	前事業年度（2024年３月末）	当事業年度（2025年３月末）
流動負債	**1,586**	**2,000**
うち、借入債務	**－**	**－**
固定負債	**56**	**114**
負債合計	**1,643**	**2,114**
株主資本	**5,486**	**5,945**
純資産合計	**5,566**	**5,958**
負債純資産合計	**7,209**	**8,073**

※本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続等は実施中であります。

キャッシュ・フロー

実店舗出店による設備投資により投資CFは減少したものの、利益改善により営業CFが増加し、現金及び現金同等物の期末残高は1,922百万円（YoY +83百万円）となった。

（単位：百万円）

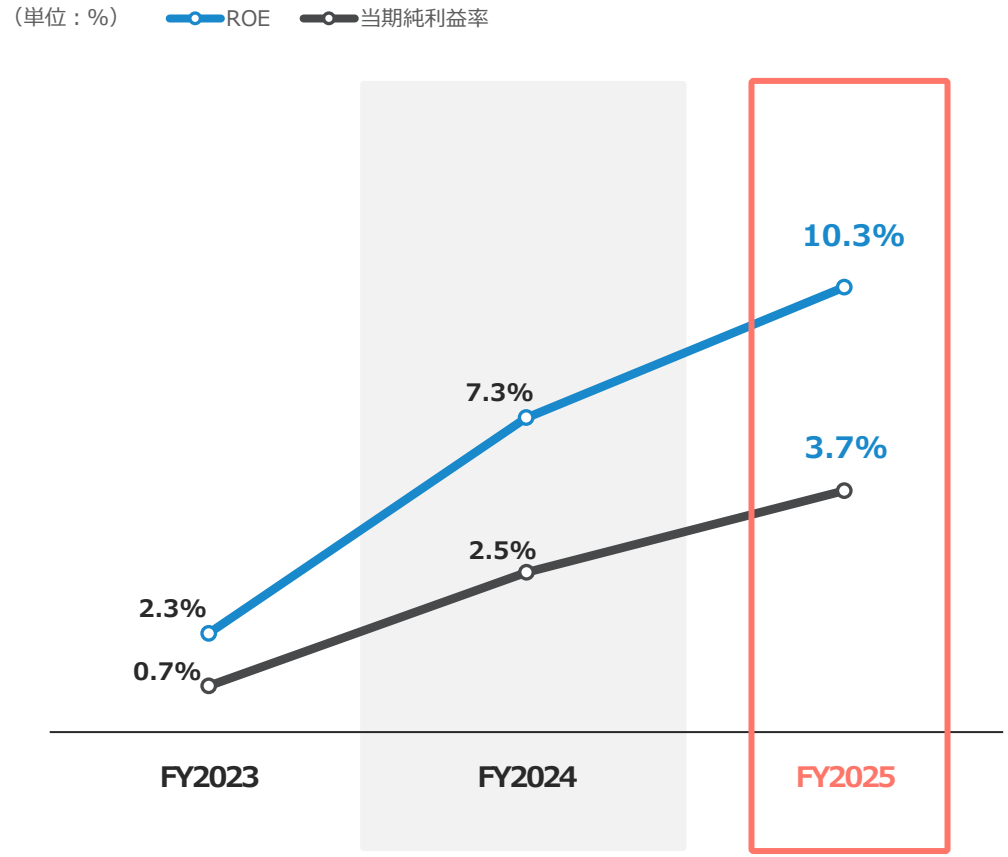
	前事業年度（2024年３月期）	当事業年度（2025年３月期）	増減額	当事業年度の主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	264	715	+451	税引前当期純利益　＋938 減価償却費　+206 売上債権の増減額（△は増加）　△277 棚卸資産の増減額（△は増加）　△202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189	△466	△276	有形固定資産の取得による支出　△298 敷金及び保証金の差入による支出　△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234	△165	+69	自己株式の取得による支出　△73 配当金の支払額　△104
現金及び現金同等物の期末残高	1,839	1,922	+83	

※本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続等は実施中であります。

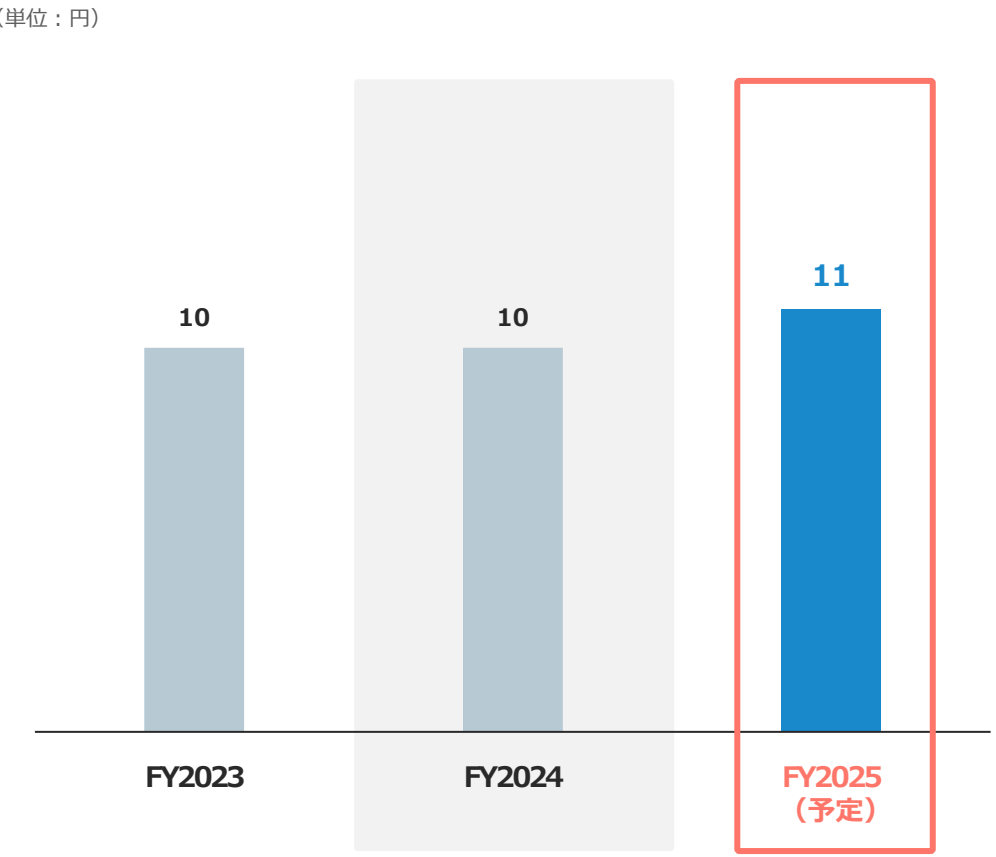
ROE・当期純利益率の推移、１株当たり配当金の推移

2025年３月期はROE 10.3%、当期純利益率 3.7%で着地。
配当は１株当たり11円を予定。DOE2.0%を目安とした継続的な配当を実施し、残りは成長投資へ回す方針。

ROE・当期純利益率の推移



１株当たり配当金の推移



ESGの中でも環境・社会に関する活動を実施。
CO2排出量削減やガバナンス強化に向けた施策を含めて引き続き検討。

撮影品寄付

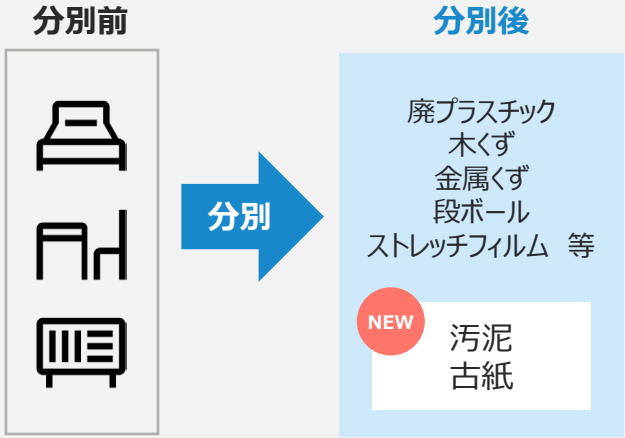
2025年２月

福岡県内の福祉施設へ
撮影時に利用した家具を寄贈。

資源循環促進のための活動

2024年４月～2025年３月

混合廃棄物の分別を実施中。
2024年度は新たに汚泥、古紙の分別を実施。



昇給

2025年４月

業績改善に伴い、給与のベースアップを実施。

2

LOWYA事業の報告

LOWYA

主要指標（通期）

前第２四半期に利益重視の方針に転換し、販売促進費及びマーケティングコストの適正化を実施したことにより
売上高は15,588百万円（YoY 99.6%）で着地。旗艦店会員数及びエンゲージメントアカウント数は順調に増加。
2025年３月期は実店舗を５店舗オープンし、現在計８店舗を展開中。

売上高	実店舗数	客数 ※1	客単価 ※1、2
15,588 百万円	8 店舗	774 千人	21,625 円
YoY 99.6%	YoY +5店舗	YoY 93.6%	YoY 109.9%

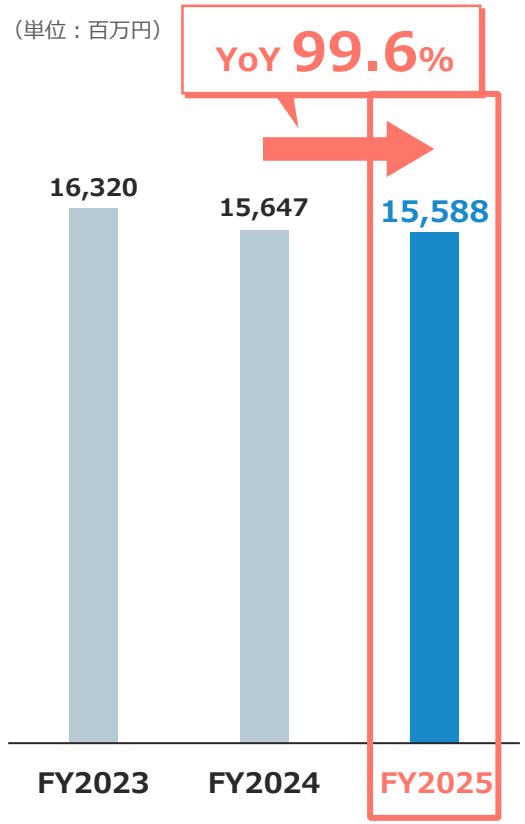
旗艦店会員数 ※3	APP DL数 ※3	取扱商品数 ※3	エンゲージメントアカウント数 ※3、4
1,946 千人	1,767 千件	1,756 点	2,088 千アカウント
YoY 121.2%	YoY 117.4%	YoY 47.9%	YoY 146.5%

※1. 第２四半期において算出方法を変更（実店舗分を加算）したため、遡及修正して表示
※2. 受注GMV（Gross Merchandise Value（流通総額））を受注件数で除すことにより算出
※3. 2025年３月末時点
※4. Instagram、TikTok、X、Lemon8、Threadsフォロワー数、YouTube登録者数、THE 608 HOTELアカウント数の合計。なお、Threadsは2024年11月より運用を開始しております。また、THE 608 HOTELは2025年１月末で運用を終了いたしました。

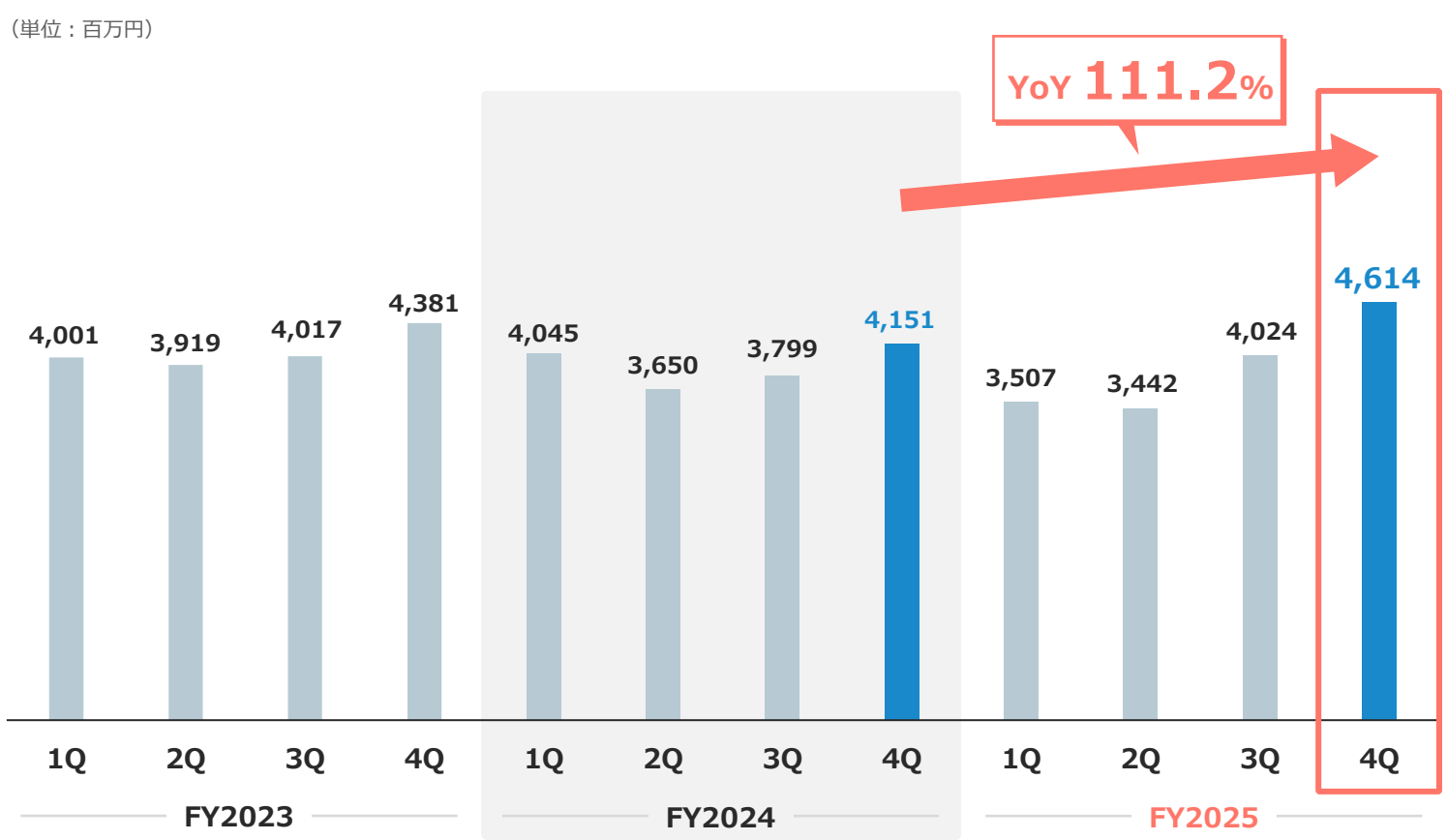
売上高の推移

実店舗出店や利益重視の施策に取り組んだ結果、
売上高は通期が15,588百万円（YoY 99.6%）、４Qが4,614百万円（YoY 111.2%）で着地。

通期



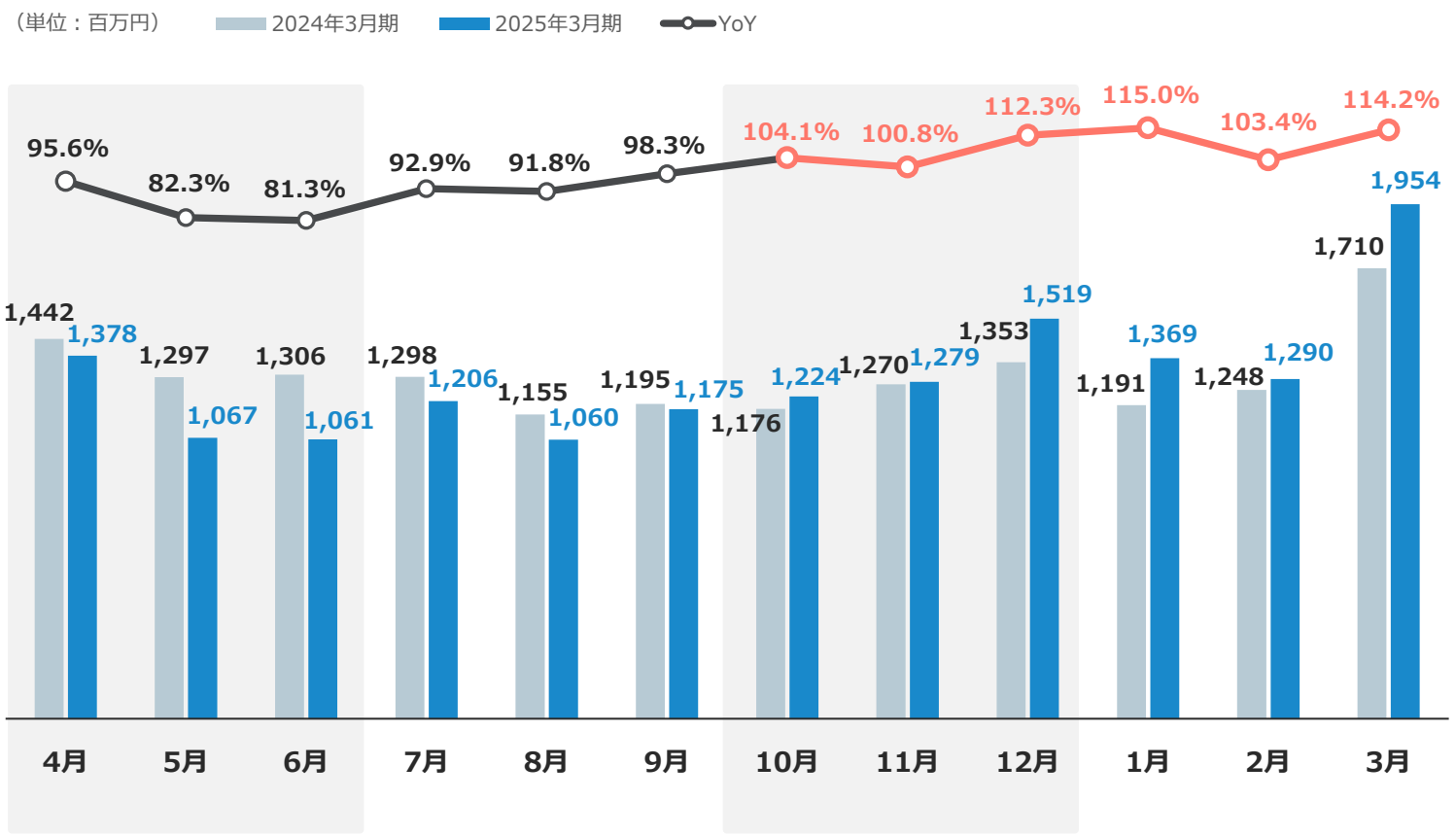
四半期



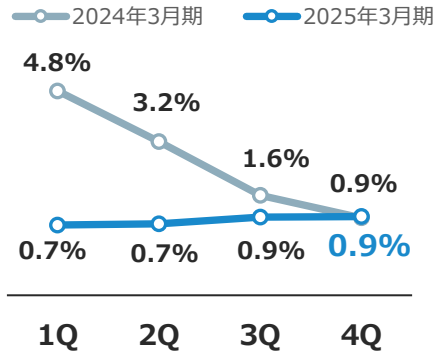
月別売上高推移

OMO戦略による実店舗の出店が順調に進み、出店の効果が得られたことで
下期は全ての月でYoY 100%を上回り推移。

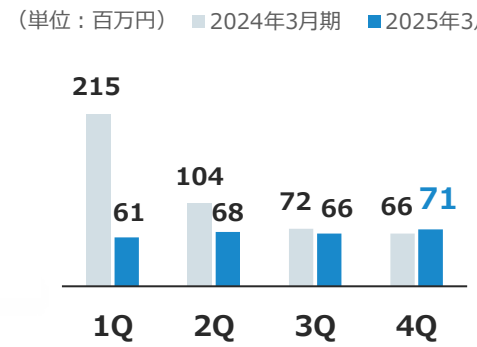
売上高（月次）



販促費率



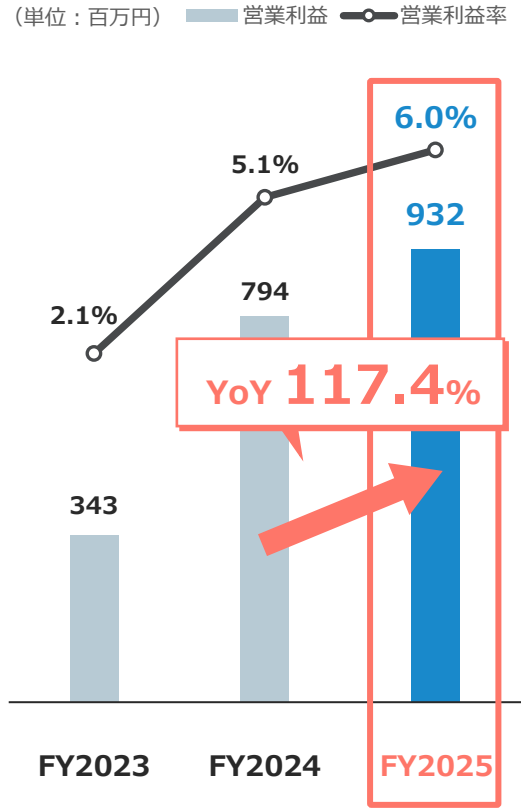
広告宣伝費



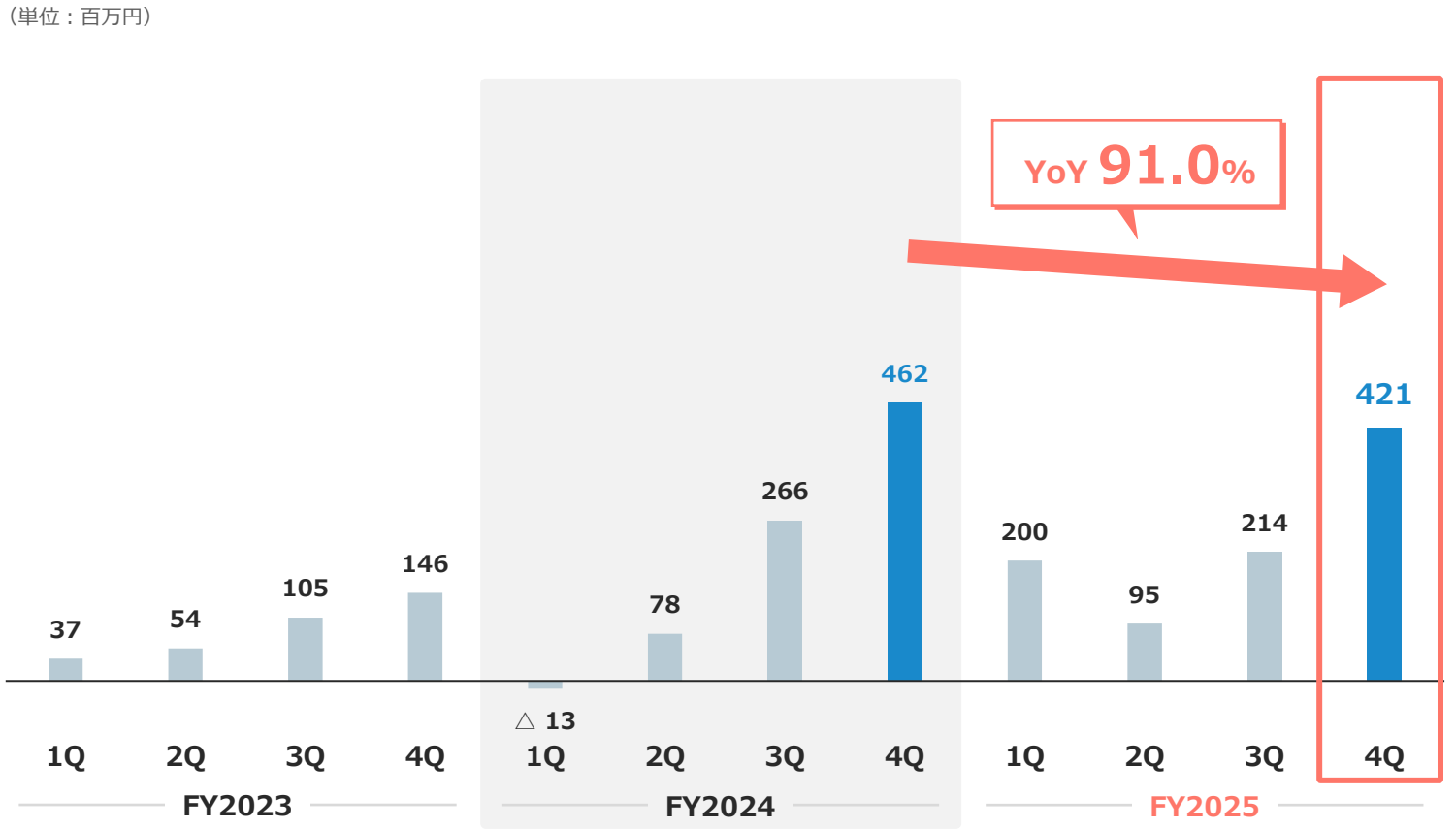
営業利益の推移

通期の営業利益は932百万円（YoY 117.4%）で着地。また、実店舗の出店、基幹システムリプレイスに向けた準備の実施等、一過性の費用の計上により、４Qの営業利益は421百万円（YoY 91.0%）となった。

通期



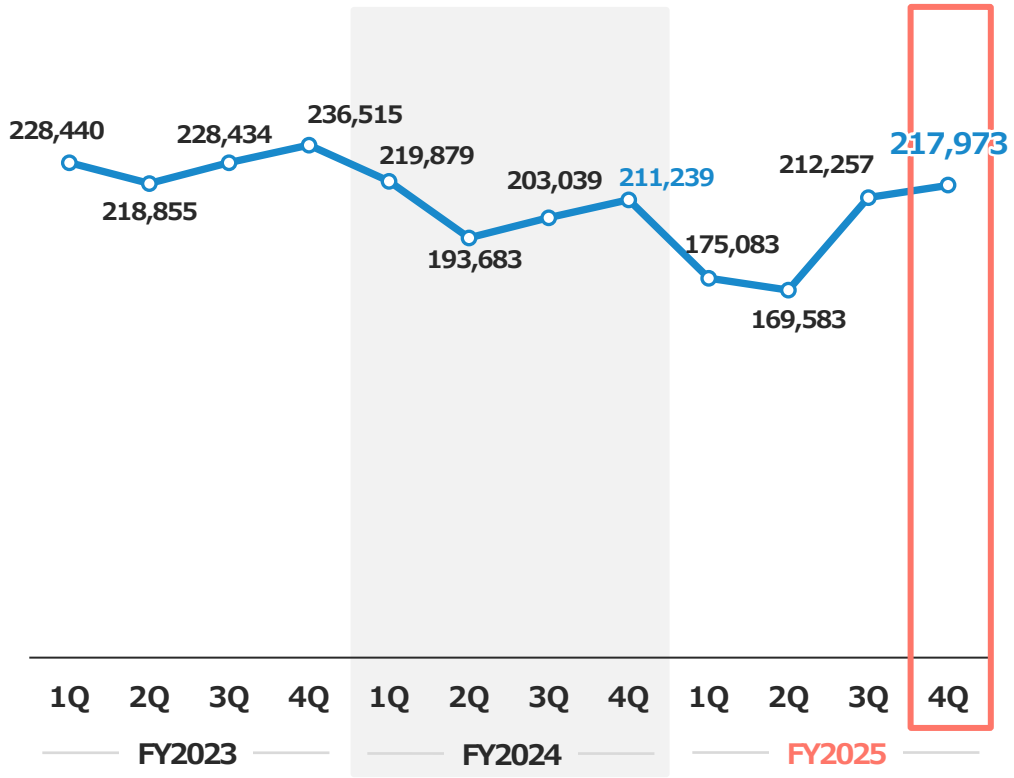
四半期



客数、客単価ともに実店舗の増加により前年同四半期に比べ増加。

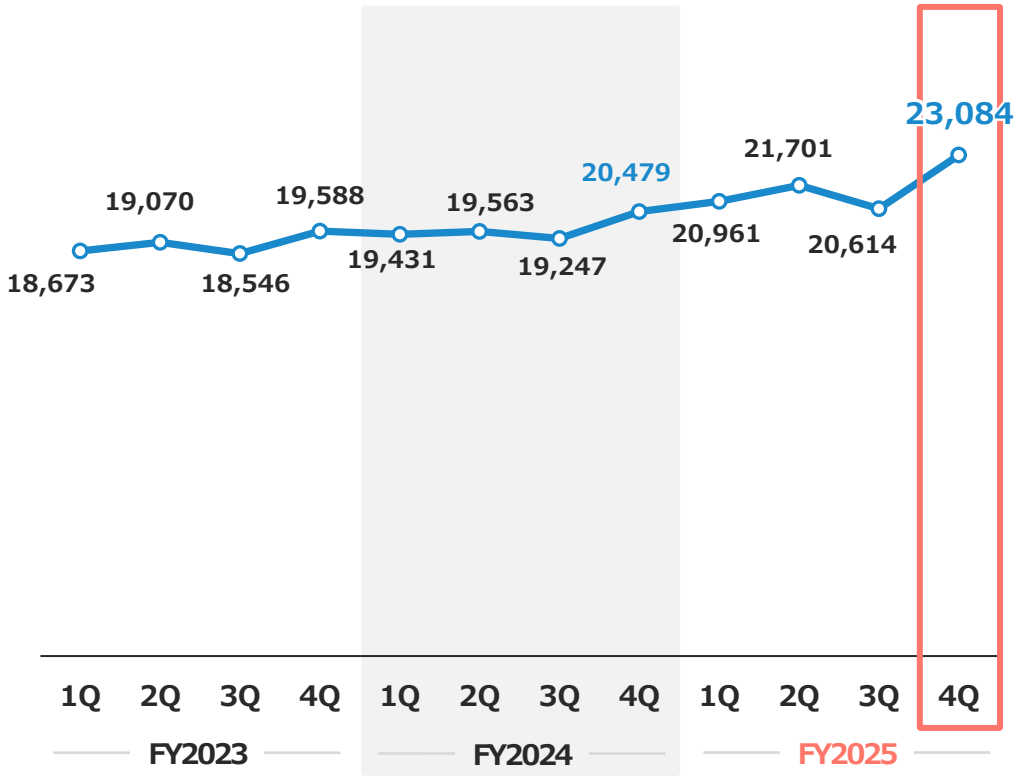
客数

（単位：人）



客単価

（単位：円）



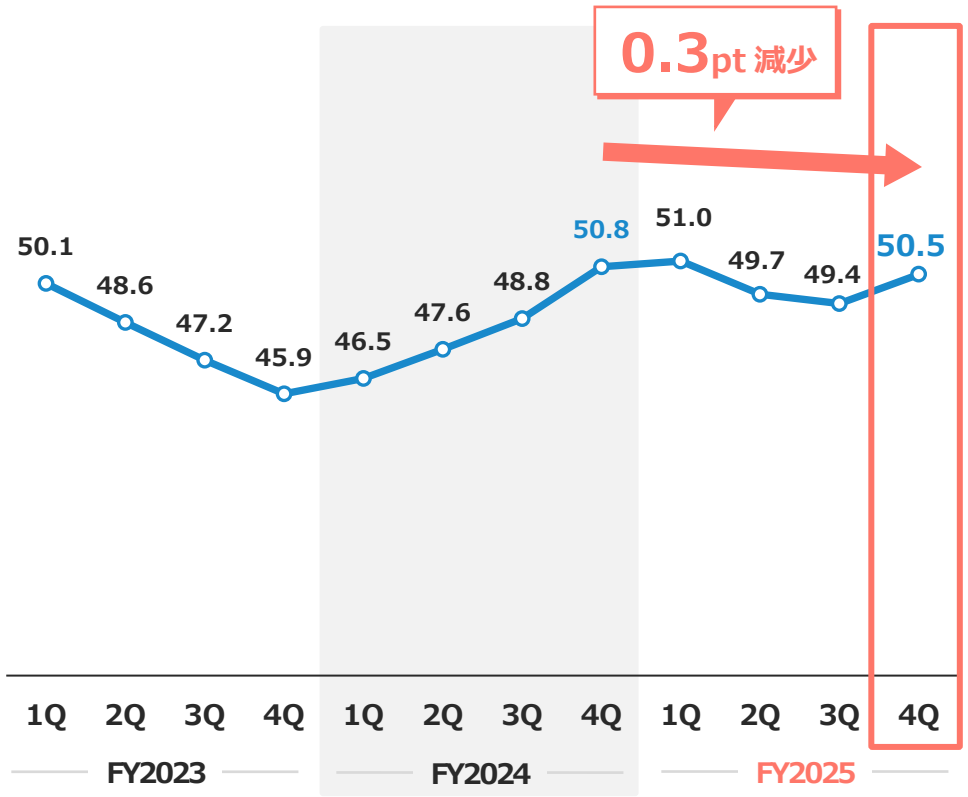
※1. 客単価は、EC及び実店舗の受注GMV（Gross Merchandise Value （流通総額））を受注件数で除すことにより算出しております。
※2. 第２四半期において客数、客単価の算出方法を変更（実店舗分を加算）したことに伴い、遡及修正して表示しております。

売上総利益率・為替レートの推移

当期末において為替が円高に進行したが、為替予約の実施やリードタイムの影響により
売上総利益率は50.5%（YoY 0.3pt減）で着地。

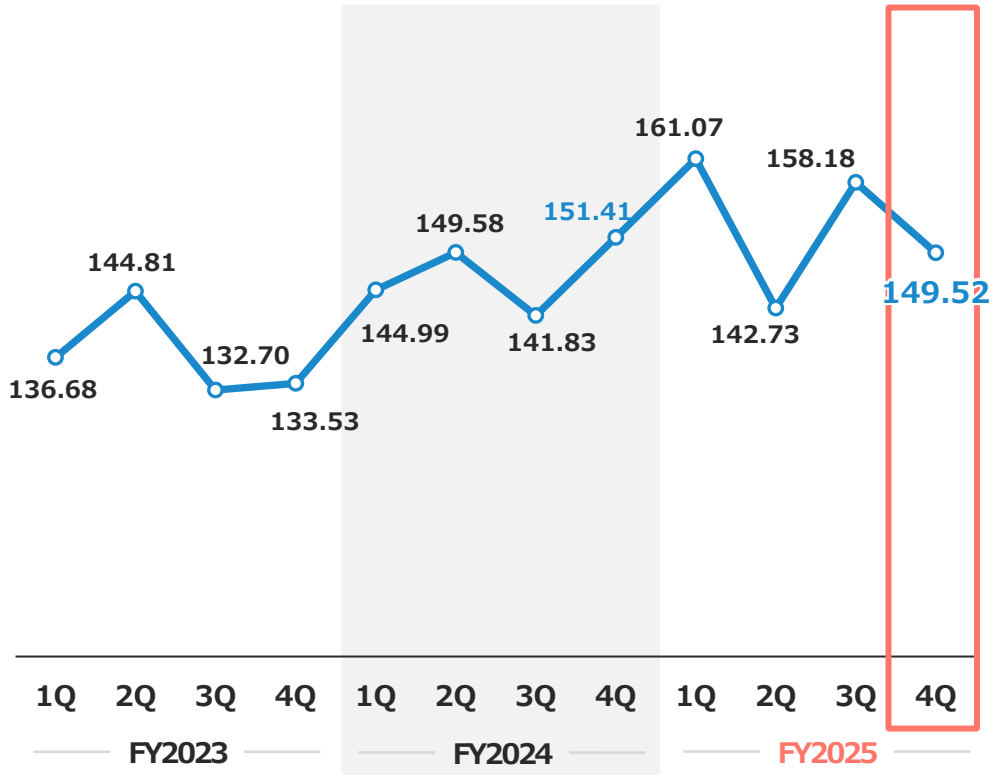
売上総利益率

（単位：%）



為替レート

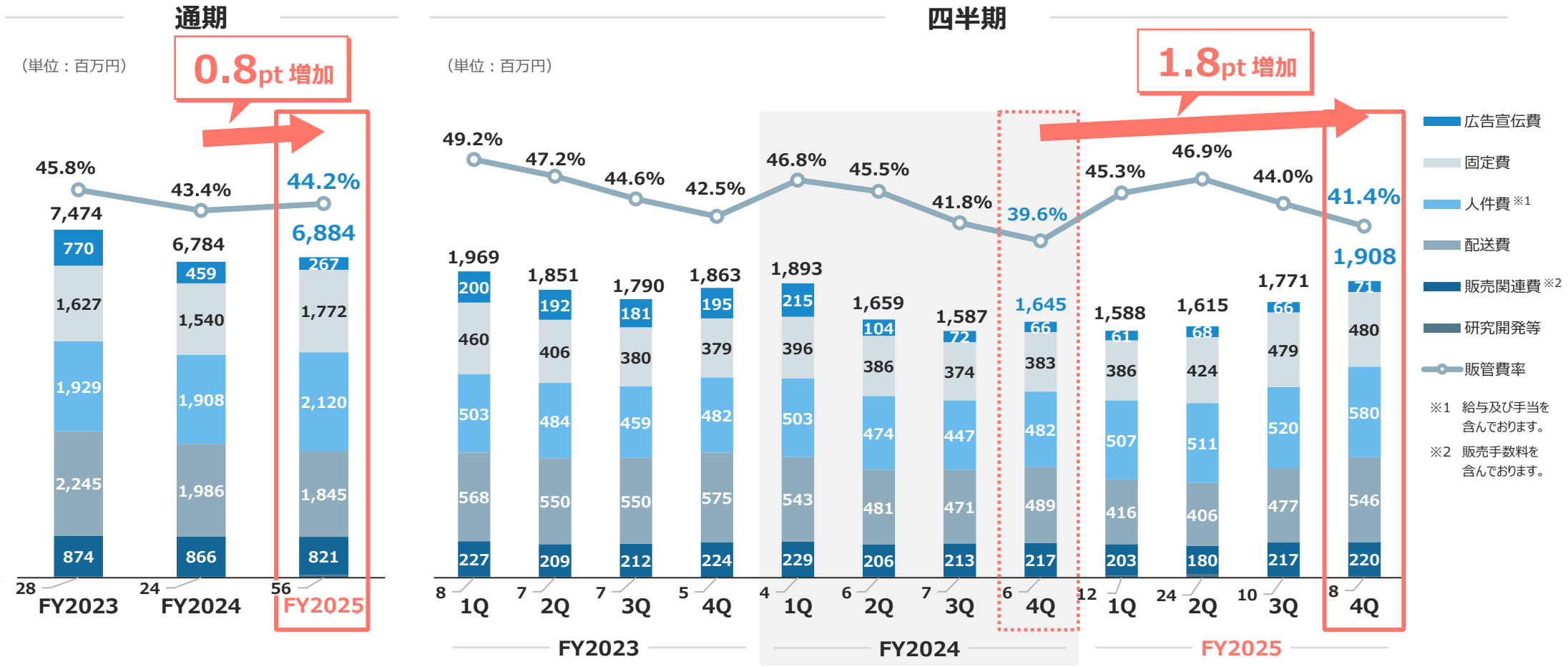
（単位：円/USD）



※為替レートは、四半期末日レートです。

販管費・販管費率の推移

実店舗の出店、基幹システムリプレイスに向けた準備の実施による一時的なコスト増加の影響で
販管費率は通期が44.2%（YoY 0.8pt増）、４Qが41.4%（YoY 1.8pt増）で着地。

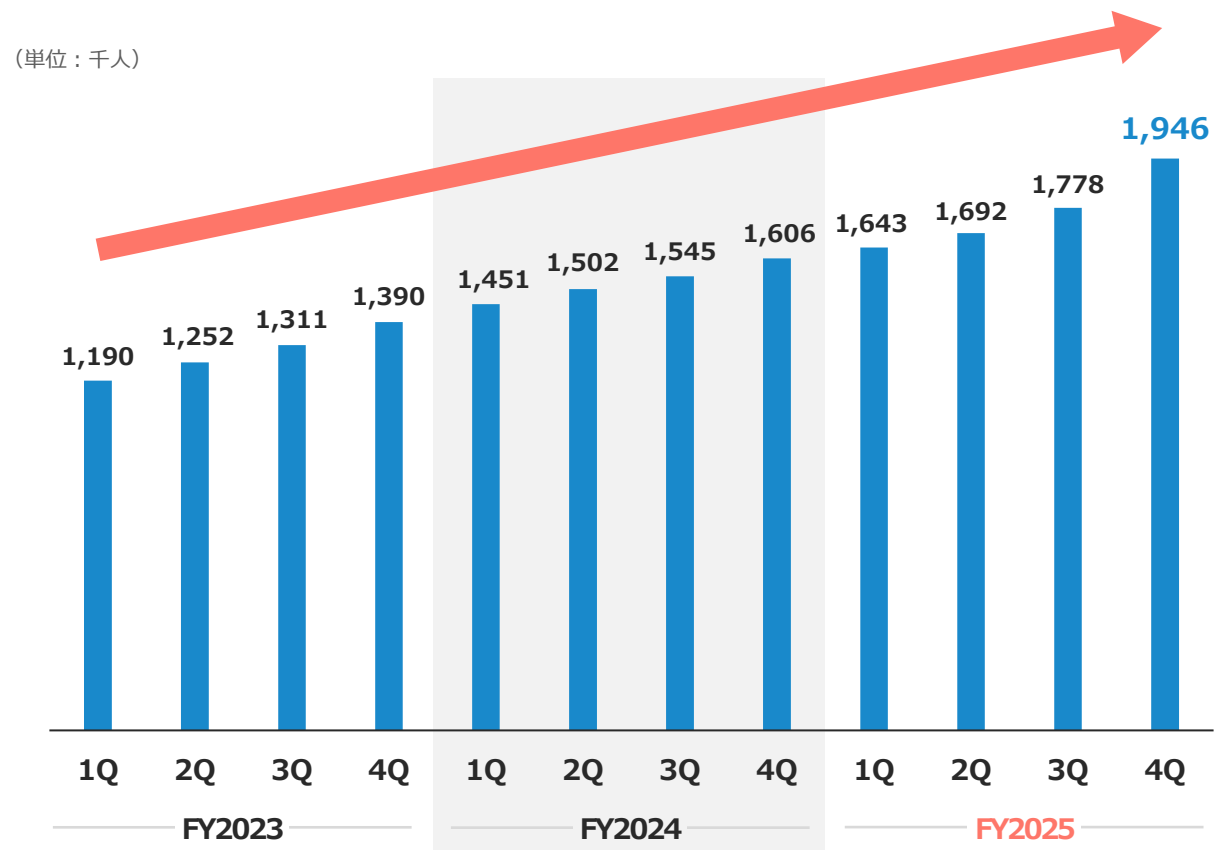


※算定基準となる売上高はDOKODEMO事業及び研究開発費に係る収益を除いた金額となるため、損益計算書上の販管費比率とは一致いたしません。
※2024年３月期より販売関連費に含めていた販売促進費を広告宣伝費に計上することにしたため、2023年３月期も遡及修正して表示しております。

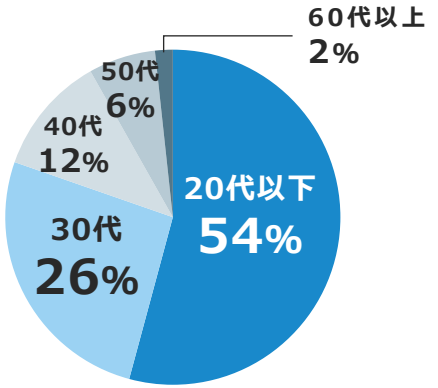
旗艦店会員数・世代分布・男女比

20代～30代の支持が厚く、旗艦店の会員数は着実に増加している。

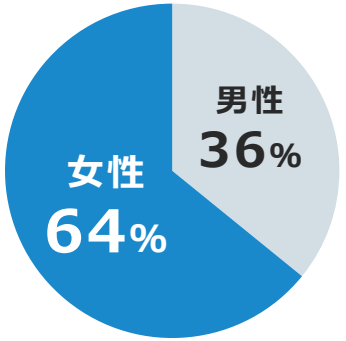
旗艦店の会員数推移



世代分布



男女比



※会員数は旗艦店で会員登録した全ての会員。
※世代分布及び男女比は、直近四半期から過去12か月の旗艦店における購入者のうち、属性を回答している会員のデータ。

デザイン性・トレンド性にこだわった自社PB商品を中心に投下し、コスト競争力でリーズナブルな価格訴求。

家具

宮棚付き木目調ベッド
34,990円(税込)～

学習机椅子セット
33,980円(税込)～

スタンドテレビ台
9,990円(税込)～

ディスプレイ収納ラック
14,990円(税込)

その他

ハンガーバー
5,990円(税込)

ハンドブレンダー
4,990円(税込)

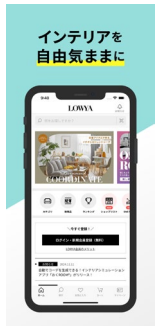
※2025年５月時点での販売価格を記載しております。そのため現在の販売価格とは異なる場合がございます。

内製化している公式アプリやSNS運用が、集客の要として機能。
スマホアプリダウンロード数は176万、Instagramフォロワー数は117万を突破し、順調に増加中。

世界観を広範なユーザーに届けるエンゲージメント・チャネルの規模（2025年３月末現在）

スマホアプリ	176 万	ダウンロード（累計）
Instagram	117 万	フォロワー
TikTok	39 万	フォロワー
YouTube	20 万	チャンネル登録者

LOWYAの公式アプリ

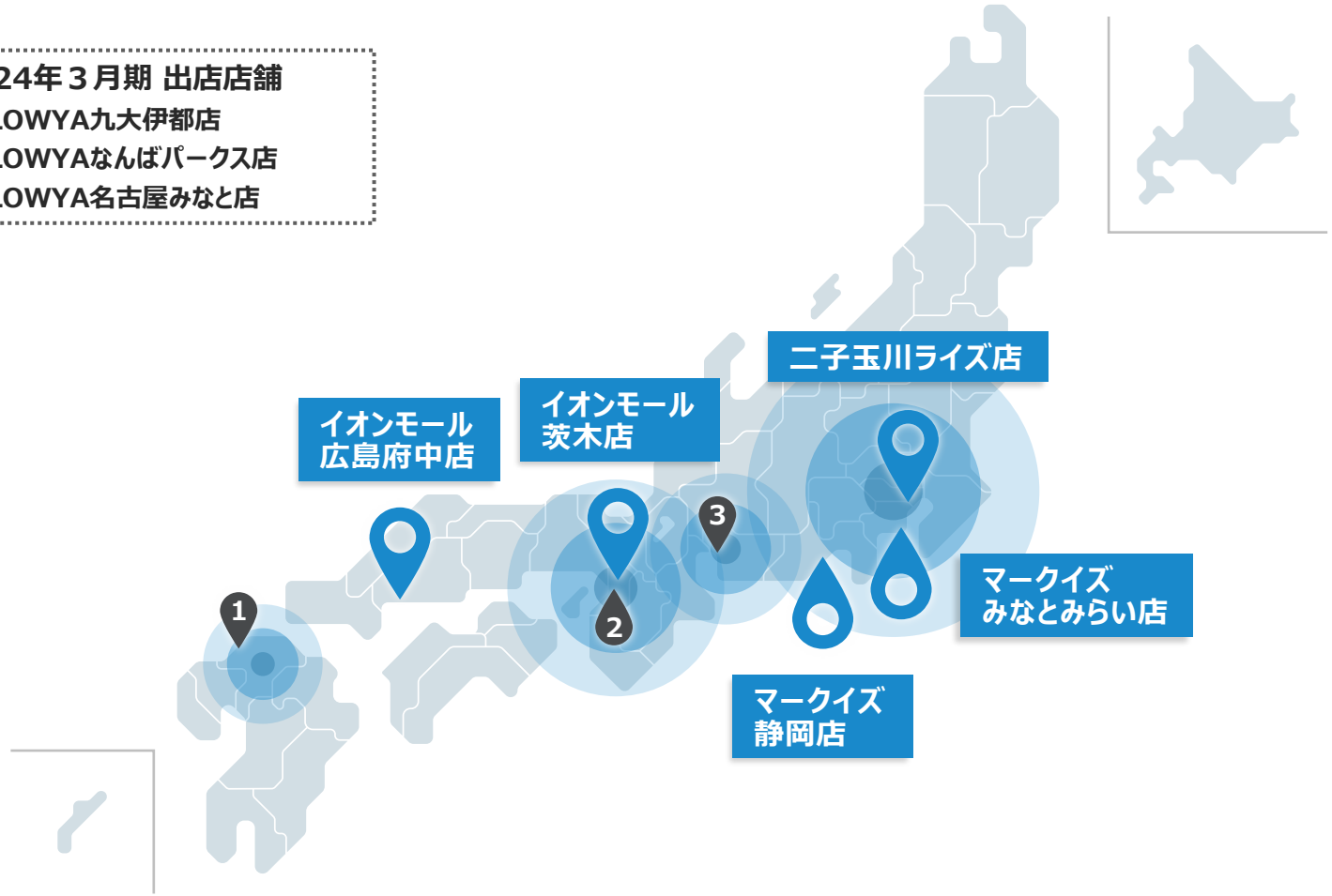


LOWYAの公式SNS

実店舗出店先

2025年３月期は出店目標４～６店舗のうち、５店舗を出店。2025年３月末時点で計８店舗を出店済み。
来期は５店舗以上の出店を予定。

2024年３月期 出店店舗
① LOWYA九大伊都店
② LOWYAなんばパークス店
③ LOWYA名古屋みなと店



2025年3月期 出店店舗

店舗名 ：LOWYAマークイズみなとみらい店
開業日 ：2024年８月10日
出店場所 ：MARK IS みなとみらい
（神奈川県横浜市西区）

店舗名 ：LOWYA二子玉川ライズ店
開業日 ：2024年９月14日
出店場所 ：二子玉川ライズ S.C. タウンフロント
（東京都世田谷区）

店舗名 ：LOWYAイオンモール広島府中店
開業日 ：2024年10月５日
出店場所 ：イオンモール広島府中（広島県安芸郡）

店舗名 ：LOWYAイオンモール茨木店
開業日 ：2024年11月２日
出店場所 ：イオンモール茨木（大阪府茨木市）

店舗名 ：LOWYAマークイズ静岡店
開業日 ：2024年11月30日
出店場所 ：MARK IS 静岡（静岡県静岡市）

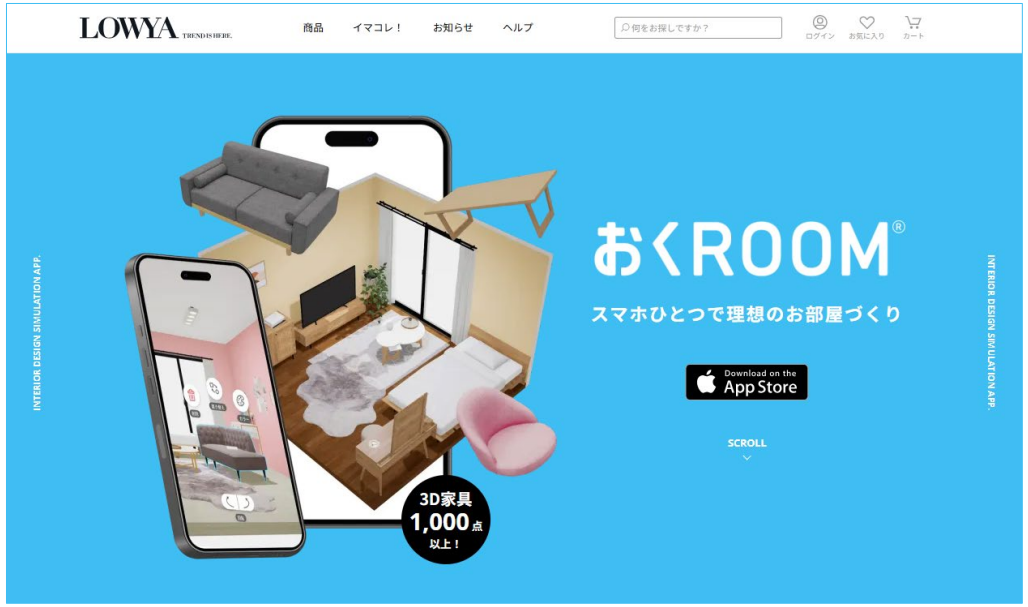
新サービス「おくROOM®」

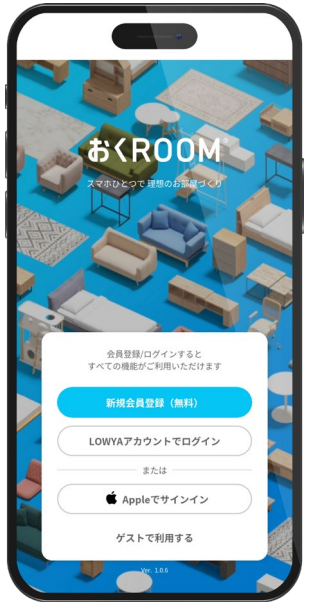
2024年11月　自社開発の３D家具配置シミュレーションアプリ「おくROOM®」をローンチ。
2025年３月までに累計30万ダウンロードを突破。おくROOM®経由の売上も増加傾向。

スマホひとつで理想のお部屋づくり　3D家具配置シミュレーションアプリ

特許出願中

インテリア知識ゼロでも大丈夫！　部屋のサイズや予算を入力するだけで自動でお好みの部屋を無限に生成できる！
プロが用意した部屋コーディネートを3D空間で体感できる！





Point

- 無料
- 簡単操作
- AI自動コーデ生成機能あり
- プロが作ったコーデを参考にできる
- 家具はすべてLOWYA公式アプリから購入可能

3

DOKODEMO事業の報告

主要指標（通期）

利益改善の取組みとして販売促進費及びマーケティングコストの適正化を実施した影響により、
GMVは2,210百万円（YoY 82.3%）、売上高は346百万円（YoY 83.2%）で着地。
会員数やアプリダウンロード数は順調に推移。

GMV ※1	売上高	会員数 ※2	APP DL数 ※2
2,210 百万円	346 百万円	1,165 千人	1,668 千件
YoY 82.3%	YoY 83.2%	YoY 107.8%	YoY 103.9%

客単価	ブランド数 ※2	取扱商品数 ※2	配送実績 ※2、3
12,148 円	1,297 点	47,683 点	123 か国
YoY 78.2%	YoY 101.7%	YoY 102.3%	YoY 102.5%

※1. Gross Merchandise Value （流通総額）
※2. 2025年３月末時点
※3. 国と地域の配送実績数（過去累積）

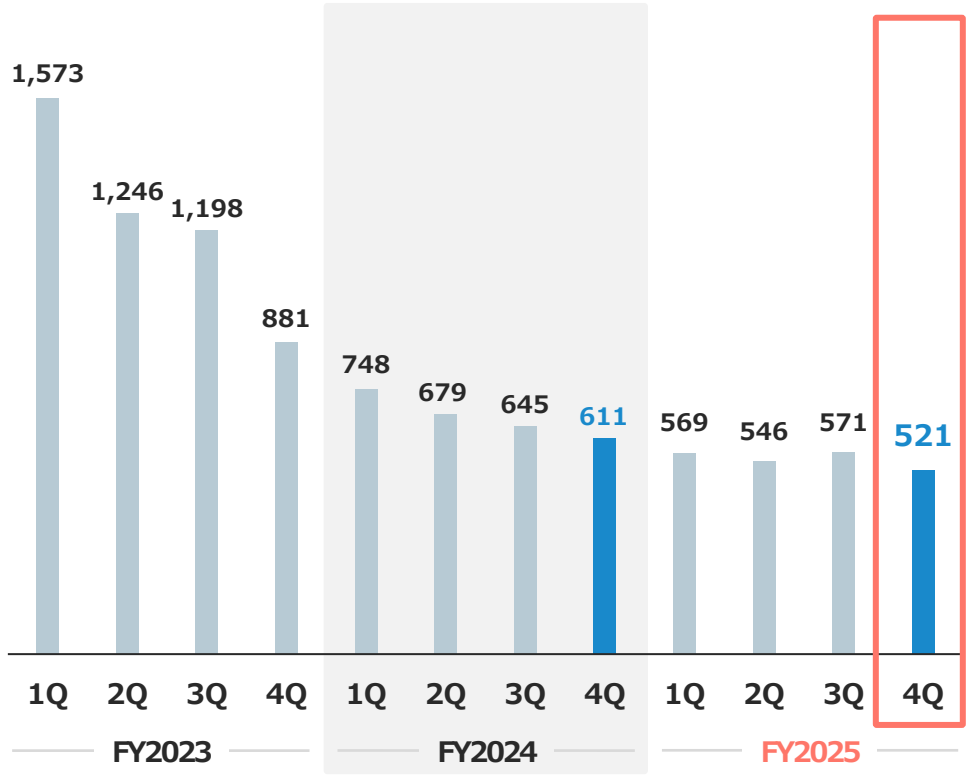
GMV・事業収支

数字更新

利益率改善の取組みとして販売促進費及びマーケティングコストの適正化を実施した結果
GMVは521百万円、事業収支は△1百万円で着地。

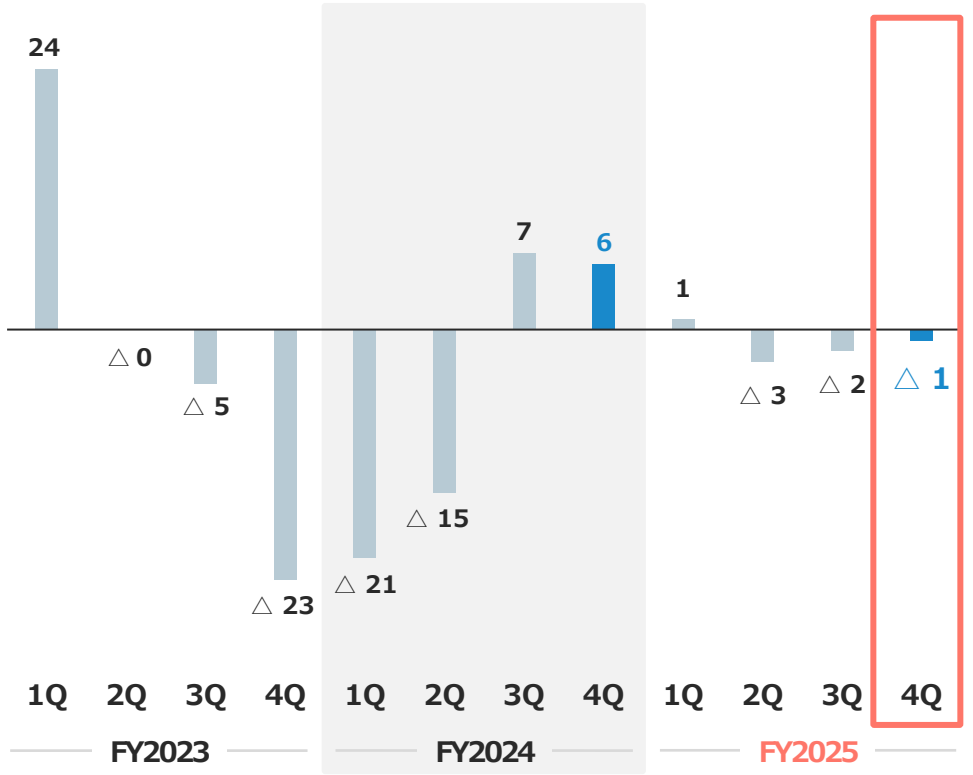
GMV

（単位：百万円）



事業収支

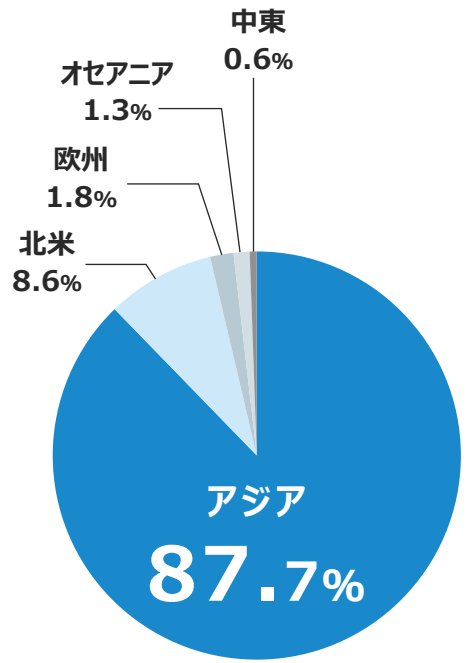
（単位：百万円）



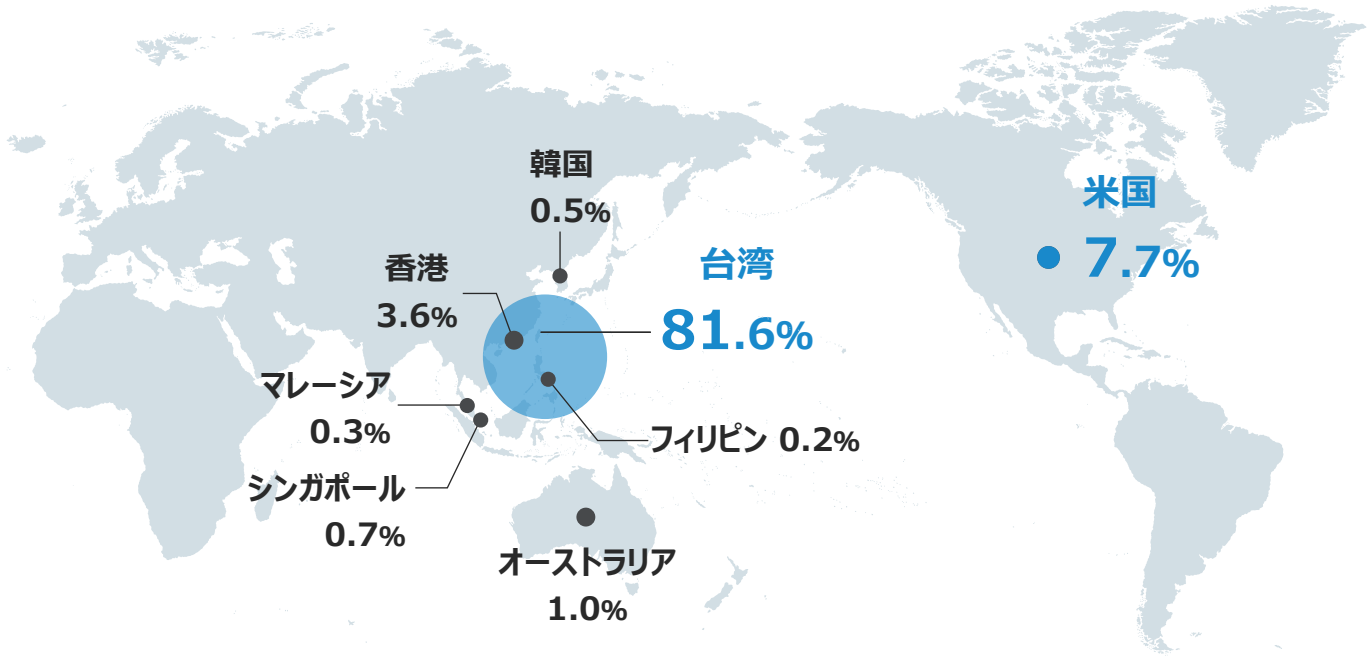
配送エリア別のGMV比率

台湾を中心にアジア向けの配送がGMVの８割超、米国への配送が１割弱を占めている。

地域別



国別



※配送国割合は、2024年４月～2025年３月のGMVにおける割合において算出

4

2026年３月期　業績予想

2026年３月期 業績予想

LOWYA事業については、引き続き利益重視の運営を継続するとともに、５店舗以上の実店舗を出店することで
OMO型D2Cモデルの拡大に注力し、増収増益を目指す。
DOKODEMO事業は、マーケティングコストを抑制しながら、取扱商品及びジャンルの拡充により流通総額の拡大を図る。

	2025年３月期		2026年３月期		YoY	
	上期実績	通期実績	上期予想	通期予想	上期	通期
売上高（百万円）	7,123	15,935	8,000	17,500	112.3%	109.8%
営業利益（百万円）	294	926	400	1,100	135.6%	118.7%
経常利益（百万円）	298	938	400	1,100	133.8%	117.3%
当期純利益（百万円）	191	591	240	660	125.6%	111.5%
１株当たり当期純利益（円）	18.48	57.23	23.34	64.19	―	―

※本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続等は実施中であります。

IRに関するお問い合わせ

https://www.vega-c.com/contact/ir/

当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の判断に基づき作成しております。
これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招く不確実性を含んでおります。
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる情報の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。